

# 芸備線の辿った歴史

私鉄芸備鉄道として誕生し、国鉄芸備線、さらに民営化でJR芸備線へと変遷を遂げてきた芸備線。芸備線が歩んだ100年の歴史を見つめます。



芸備鉄道ポスター (個人)  
 厳島神社、毛利元就の墓などの名所や開通当時の鉄道路線が描かれている



芸備鉄道建設概要 (個人)



快速ちどり 停車記念式典 (個人)



快速ちどり  
 (撮影: 細川延夫氏 提供: 広島県立歴史博物館)

## 年表

- 明治45年 芸備鉄道株式会社設立
- 大正2年 下深川停車場(現広島市)にて起工式
- 大正4年 1月25日 工事中青河トンネル(志和地〜三次間)にて天井崩落事故10名死亡
- 4月28日 東広島(現広島)〜志和地間が開通
- 6月1日 志和地〜三次間開通
- 大正12年 12月8日 備後庄原まで開通
- 昭和4年 広島〜三次間 ガソリンカー運輸開始
- 昭和12年 備後十日市〜広島間国鉄買取 国鉄「芸備線」誕生
- 昭和16年 ガソリン不足によりガソリンカー及び専用駅廃止
- 昭和20年 広島に原爆が投下され、被爆者を県北へ移送
- 昭和24年 「日本国有鉄道」として発足
- 昭和28年 広島〜米子間 木次線経由週末快速「ちどり」運輸開始
- 昭和30年 広島〜米子間 木次線経由週末快速「夜行ちどり」運輸開始
- 昭和37年 広島〜新見間の普通列車に気動車運輸開始
- 昭和41年 準急は急行に格上げ、芸備線の準急なくなる
- 昭和44年 広島〜三次間一部牽引列車のディーゼル機関車化実施
- 昭和45年 10月1日 広島〜三次間を無煙化
- 昭和46年 広島〜三次間お召列車運転
- 昭和55年 芸備線に新型気動車「キハ40・47」を導入
- 昭和60年 急行「みよし」運輸開始
- 昭和61年 芸備線の貨物運輸営業廃止
- 昭和62年 民営化により「西日本旅客鉄道(JR西日本)」となる
- 平成元年 4月16日 広島〜三次間にSL「みよし号」運転(C57使用)
- 平成3年 広島〜三次間 ワンマン運行開始
- 平成19年 急行「みよし」と快速「通勤ライナー」が快速「みよしライナー」に統合
- 平成27年 芸備線開通100周年

SLみよし試運転 (個人)



蒸気機関車お別れ運転 (個人)



キハ40 運転室 (個人)

甲立駅改札 (菁文社)



SLみよし (個人)



急行みよし3号 (長船友則氏)  
 緑色の三本のラインは毛利元就の「三本の矢」を表していると言われる



甲立駅 (長船友則氏)



吉田口駅 (菁文社)



向原駅

ヤミ米を運ぶ人 (菁文社)



ヘッドマーク毛利元就 生誕500年 (個人)



甲立駅貨車積風景  
 (芸備鉄道庄原線買取記念帳より)



吉田口駅  
 (芸備鉄道庄原線買取記念帳より)



向原駅における列車の行き違い  
 (芸備鉄道庄原線買取記念帳より)



激動の時代を生きた芸備線  
 芸備鉄道は、起工式からわずか1年4か月で東広島〜志和地間が開通しました。このとき、三次駅までの一区間を残して開通した理由として、青河トンネルの事故で作業員が10人死亡になったことや、三次と志和地の間に複数のトンネル・鉄橋があったためと言われています。昭和12年には国鉄に買取され、芸備鉄道は解散となりました。着工当時は鉄道が上根峠を越えることが困難で、芸備鉄道のルートとして吉田町を通さないことになり、そのことを知った当時の吉田町・甲立村民が猛反対。しかし、要望は受け入れられませんでした。その後、吉田町と甲立村の強い要望で、小田村に設置した2つの駅を「吉田口駅」「甲立駅」と名付けました。芸備鉄道には幻の鉄道路線があり、吉田口〜大朝間に鉄道を敷設する計画がありました。昭和2年には会社まで設立されましたが、株主からの払い込みがなく、社長が辞職するなど関係

者の熱意も冷め翌年解散。出雲から宮島を結ぶ「芸備鉄道」の計画もありましたが、実現には至りませんでした。バス会社とのお客さんの取り合いが激化した昭和4年にはガソリンカーの運行が始まり、昭和16年までの12年間利用されました。

国鉄芸備線となった戦時中は、兵士を広島、宇品に送り、原爆が投下されたときには、被爆者を県北の救護所に送る役目を果たしました。

戦後、広島〜米子間を結ぶ快速ちどりが誕生。当初は広島〜三次間は停車しませんでした。が、地元の要望もあり、昭和31年には吉田口駅、昭和33年には甲立駅に停車するようになりました。昭和30〜40年代は芸備線の利用が最も多い時期であったとともに、鉄道の近代化も進み、黒い煙を出しながら走る蒸気機関車(SL)が昭和45年に廃止されました。

そして、マイカー時代へと変遷し、昭和61年には貨物の取り扱いが芸備線全線で廃止。翌年、JR芸備線となりました。急行みよしは平成19年に廃止となり、今では快速みよしライナーが走っています。